

## まぢめぐり資源の解説

### ⑦長楽寺観音堂(ちょうらくじかんのどう)

延喜5年(905年)に真言宗の霊場として開かれ、戦国時代には武田氏や毛利氏の祈禱所として繁栄した。かつては、本堂・奥院・阿彌陀堂・薬師堂・護摩堂・鐘守・神宮の7堂のほか、鐘樓・仁王門・方丈・客殿・庫裏・宝蔵などを有した壮大な寺院であったが、慶長6年(1601年)福島氏が広島城主の時、寺領を没収され衰退、廃寺となった。後に観音堂が建立され、以来33年ごとに本尊観世音菩薩像を拝むことができる御開扉が行われてきた。近年では平成14年(2002年)がこの33年目にあたり、お堂の修復もあわせて行われた。祭礼は9月中旬。



現在、南側の山裾に「二王門(原文どおり)所在の跡」の記録が残るが、門の創建は仁王尊とともに巖島に移譲され伝わっている。また、荒谷山登山道の途中に、不動院、鐘樓(奥院)がある。

### ⑧新宮神社(しんぐうじんじや)

かつては神仏習合によって長楽寺内に合祀(ごうし)されていたが、長楽寺が廃寺となった後、享保元年(1716年)に現在の場所に社殿が移された。



境内の入り口の左右に立つイチイガシ、イヌマキの木は広島市の天然記念物に指定されている。神社の入り口にこれらの木が対になって植えられているのは珍しい。社殿に向かって左側のイチイガシは、中国地方では珍しい種類のもで、葉の裏に柔かい毛があるのが特徴。右側のイヌマキは、広島県では宮島以外に自生は知られていない。

### ⑨広島市交通科学館(ひろしまこうつうかがくかん)

陸・海・空の乗り物模型約2,500点で過去から現在にいたる乗り物の歴史を学べるほか、日本最大級・直径20mのパノラマで都市交通の近未来の姿を見ることが出来る。また、館内には情報端末や映像カプセル、ライブラリーなどがあり、より深く乗り物について知ることできる。



このほか、屋外広場のおもしろ自転車やバッテリーカート、館内で実施する工作教室やサイエンスショーなど体験メニューも充実しており、子どもだけでなく大人でも十分楽しめる施設である。

### ⑩富士川游先生顕彰碑(ふじかわゆうせんせいけんしょうひ)

日本医学史の研究によって恩賜賞を得、日本医学史学会を創立した富士川游氏の碑。医学と文学の両博士号を取得していた(当時は、葬儀外氏と2人だけ)。学界における重鎮として海外にまで、その名が知られていた。

### ⑪望郷の碑(ぼうきょうのひ)

アストラムライン車両基地建設に伴い、立ち退きや土地を手放した方々の理解と協力を顕彰する碑。車両基地建設前の地図が記録されている。

### ⑫飛倉毘沙門天(とびくらびしゃもんてん)

平成6年(1994年)に建立された毘沙門堂。その名は信貴山の故事に由来する。飛倉豊命堂という、鉱泉、療養泉基準を超えた良質の湧き水がある。



### ⑬恵比須神社(えびすじんじや)

生業を守護し、福利をもたらすとされ、都市では商売繁盛の神様として有名。民間信仰の守り神「おんばんさん」が隣に置かれている。



### ⑭田中翁功労碑(たなかおうこうろうひ)

県議会議員や安村村長として行政に尽力した田中重太郎氏の碑。



### ⑮稲荷神社(いなりじんじや)

稲荷は「いななり=稲生り」に通じ、元来水田耕作を行う人々の農業神。その使いがキツネである。現在は鎮守の神様として広く全国で信仰されている。



## まぢめぐり憩いの空間づくり事業について

安佐南区では、区の魅力を高める「魅力づくり事業」の一つとして、「まぢめぐり憩いの空間づくり事業」(平成13年度～平成20年度)を実施し、区民の皆さんと一緒に、自然、歴史、まちなみ、施設、住民活動、祭りなど、地域の特徴ある資源を生かしたポイント(空間)や、これらをつなぐルートづくりを行い、平成20年度までに全18ルートが完成しました。

このマップは、平成14年度に開催された「まぢめぐり憩いの空間ルート研究会」において、高取・長楽寺地区に在住の方を含む区民メンバーが調査・検討した結果をまとめたものです。



※運行時刻、所要時間、経由地などは、運行会社にご確認ください。

## あさみなみ散策マップ ～高取・長楽寺ルート～

発行：安佐南区役所 地域起こし推進課 ☎082-831-4926  
制作協力：まぢめぐり憩いの空間ルート研究会  
発行年月：平成15年(2003年)3月 初版  
平成19年(2007年)3月 改訂  
平成22年(2010年)3月 改訂  
平成27年(2015年)3月 改訂

## 高取・長楽寺地区について

### ●高取・長楽寺地区

北側の荒谷山、南側の武田山・火山に挟まれ、その間を流れる安川に沿って広がる街です。特に昭和40年代ごろから、南北の山腹に大規模な団地が整備され市街地が拡大されてきました。これによって、広島のパッドタウンとして人口が増加し、現在のような住宅を中心とした街並みが形づくられてきました。

明治22年(1889年)、当時の沼田郡中須、大町、相田、上安、高取、長楽寺の6つの村が合併し安村が誕生、昭和30年(1955年)、東隣の古市町と合併して安古市町となり、さらに昭和48年(1973年)、広島市に合併、昭和55年(1980年)の政令指定市都市移行を受けて、現在の安佐南区の一部となっています。



### ●古代山陽道

古代山陽道は都から諸国にのびる官道(今言う国道)で、大化2年(646年)に駅制が定められて以降、朝廷が唐の制度を見習って整備したものであり、その重要度に応じて「大路」としての山陽道、「中路」としての東海道、東山道、「小路」としての北陸道、山陰道、西海道、南海道と七つの官道がありました。「大路」は山陽道だけで、直線距離は約500km。中でも安芸の国の道は、峠越えや川渡りなど難所続きだったといわれています。道幅はきわめて狭く、馬が通れる程度の幅であったと推定されています。



古代山陽道ではないかと思われる小径

そのコースは、都と諸国を短時間で結ぶことを最大の目的として選ばれ、また「中央政府の道」としての意味合いが強く、一般住民の利用はできなかったようです。

安佐南区内では、戸坂から川を渡って東野付近から相田、安を通り、現在のアストラムラインに沿うように大塚・石内方面へ抜けたと考えられています。

### ●安川

安から伴にかけての安川には、かつて10カ所あまりの水車が設置されていました。これらは昭和50年初頭に姿を消してしまいましたが、かつては水車の回転を利用して米の脱穀などを行っていました。

また、護岸整備がされた現在でも、川から水を引くための堰や用水路が見られ、安川と生活のかかわりが深かった時代を思いおこさせます。

一方、現在のような堤防が築かれる以前の安川は、しばしば洪水に見舞われ、流域に大きな被害をもたらしてきました。

戦後においても、昭和32年(1957年)6月、昭和35年(1960年)7月、昭和38年(1963年)7月、昭和40年(1965年)6月と、度々災害に見舞われ、大きな被害がもたらされました。



## 正しい歩き方

せっかく歩くなら、正しく歩いて「健康ウォーキング」にしませんか?

胸を張り  
背筋を伸ばし  
肩の力を抜いて  
リラックス

ウォーキングは・・・  
肥満・高血圧等の生活習慣病を  
予防・改善するだけでなく、  
脳の活性化により、認知症や  
老化の予防、筋力アップによる  
転倒予防にも効果的です!

元氣じゃけんひろしま21  
～安佐南区では、「健康ウォーキング」を推進しています!～



あごを引き  
視線はまっすぐやや遠くを見る

呼吸は自分のリズムで・・・

肘(ひじ)を  
やや曲げ腕を大きく  
振る

おなかを  
引き締める

膝(ひざ)を  
伸ばして大きく  
前へ

かかとから  
着地

この印刷物は再生紙  
を使用しています

## まぢめぐり資源の解説

### ①大利河内神社(おとしこうちじんじや)

安芸国守護職に任ぜられた武田氏が武田山に銀山城を築城した際、鬼門を除くために勧請したとされている田中山神社(安東)の摂社。祭礼は11月上旬。  
拝殿には、絵馬などと並んで、大正時代に描かれた安川流域の絵地図や昭和44年(1969年)に撮影された安古市町の航空写真が奉納されている。  
摂社\*: 本社に付属し、その祭神と縁故の深い神を祭った神社。



### ②大元神社(おおもとじんじや)

この辺りは小高い丘であったが、近年、造成によって大部分がなくなり、神社も現在の場所に移された。その時、社なども新しく建て替えられた。祭礼は、3月中旬。



### ③光明寺(こうみょうじ)

弘安2年(1279年)に真言宗福光寺第28世慧教が夜珠の庄(荒谷山)に円妙院を建立したのはじまりである。真言宗の霊場として約200年にわたって栄えてきたが、寛正元年(1460年)第13世性空が通知を節事し真宗に改めた。翌年、現在の地に移り、寺名も光明寺に改められた。  
境内を囲む大きな石垣は、安川の護岸整備によって道路の下に埋まってしまうが、川底にまで達しているようで、江戸時代の山門、境内のクスノキの大木などともに外観を特徴づけている。また、戦時中、兵器の材料として軍に供出された釣り鐘は、幸い溶かされることなく、戦後、返還されたものである。材質を調査した際の跡を見ることができる。



### ④山崎河内神社(やまさきこうちじんじや)

今から200年あまり前、岩窟にあったものが移されてきたが、その場所が山深い谷底であり、神を祭る場所ではないと憂いた信徒が、慶応2年(1866年)に現在の場所に社殿を新築し奉祀(ほうし)したと伝えられている。  
大利河内神社と同じく、田中山神社(安東)の摂社とされている。祭礼は11月上旬。



### ⑤下田屋敷跡(しもだやしきあと)

地元では「どうどう神様」とも呼ばれている。江戸時代に繁栄した下田家がかった場所。



### ⑥塞神社(さいじんじや)

防塞の神様。村境や峠などで外から襲いかかる疫病や悪霊を防ぐとされる。



## ・主な参考文献・

安古市町誌/郷土の歴史探訪(安佐南区公民館ネットワーク事業)/古路・古道調査報告(広島市教育委員会)/広島県大百科事典(中国新聞社)/武田山周辺旧跡等散策マップ/そのほか社寺の現地解説文など

## マップと資源の解説の見方

地図面の右側を折り返すと、地図の左半分に掲載された資源の解説を読むことができます。逆に左側を折り返すと地図の右半分に掲載された資源の解説を読むことができます。

右側を折り返す



左側を折り返す





### 記号の説明

まちなめぐりルート  
0.3km 区間の距離 (単位: km)

〔注意する場所など〕

- 横断注意
- 信号交差点
- 歩行注意
- 急坂・急階段
- 地下道

〔まちなめぐり資源〕

- 公園
- 河川・水路
- 神社、寺院、碑  
その他由来のあるもの
- 特徴ある風景
- 眺望場所
- 樹木
- 特徴的なお店

〔案内・解説の設置場所〕

- 総合案内板
- 現地案内板
- 資源の解説板

〔目標物・その他〕

- PB 交番
- バス停留所
- コンビニエンスストア
- スーパー・ショッピングセンター
- ガソリンスタンド
- WC トイレ

注) ①資源名で示したものは裏面に解説があります。また、1で示したものはこの面に写真で紹介しています。